

あなたとつなぐ

甲_{こうか}賀

市議会だより



vol. **49**
2017/2/1

Contents

- 02 特集①／私の決意
- 04 代表質問
- 06 議案審議／12月定例会
- 08 議案審議／意見書・請願、臨時会
- 09 常任委員会報告
- 11 一般質問／市の考えを問う
- 21 特別委員会・組合議会報告
- 22 特集②／議会報告会
- 24 こうか再発見Vol.21



雪あそびで「おおはしゃぎ」

新春を迎え

決意

議長 清風クラブ
的場 計利



市民憲章前文の「住みよさと活気あふれる甲賀市」建設のため専心努力を重ねます。議会に与えられた権利と責務を全うするために一層議論を深め合議を図ります。執行部とは互いに緊張感を持ち市政発展に寄与する議会でありたいと考えます。

清風クラブ
森田 久生



議場に送って頂き4年目。初心忘れず「愚直に」「地道に」「着実に」頑張ります。

清風クラブ
山中 善治



住民が主役と実感でき、住み続けたいと思えるまちづくりを推進します。

清風クラブ
林田 久充



市長等と議会は「抑制と緊張」による議論を行い、議会の存在をより明確にします。

清風クラブ
戎脇 浩



「もつともつと好きなまちに」誇りの持てる元気なまちづくりを努めます。

清風クラブ
辻 重治



人口減少時代に立ち向い、甲賀の特徴を生かし、元気な甲賀市をめざします。



清風クラブ
橋本 恒典



みんなで創るふるさと甲賀。甲賀市の未来に向けて今年も頑張ります。

清風クラブ
田中 実



地域の声を引続き市政に届け、心の通う、活力あるまちづくりに頑張ります。

公明党
田中 將之



小さな声を大切に。あなたの視線に。あなたを応援するモチベーションを注ぎます。

清風クラブ
服部 治男



市発展の根幹、名神名阪連絡道の早期整備区間指定と着工目指し、全力を注ぎます。

清風クラブ
橋本 律子



わが市を活力や夢あるまちへ！地域力高める鍵は身近な「絆づくり」。全力投球で。

清風クラブ
中西 弥兵衛



人口減少社会に対応したまちづくりでふるさと集落生活圏の形成を図る。

公明党
白坂 萬里子



新庁舎の完成と共に本市発展に寄与すべく、女性の声と視点を前へ進めます。

公明党
加藤 和孝



子育て支援や高齢者福祉の充実等さらなる市民福祉の向上をめざし頑張ります。

2017年

私の

副議長 市民新風
森嶋 克巳



甲賀市が誕生して12年が経過しました。昨年10月から新しい市長のもと甲賀市の新たなまちづくりへの取り組みが始まるうとしています。私は甲賀市の方向性を決める機関として、正しい判断が出来る議会づくりに取り組み、与えられた役割を果たしてまいります。

市民新風
竹村 貞男



「住民が主人公」です。この精神を貫き通して、住民要求実現の為、頑張ります。

市民新風
片山 修



主役は市民、行政はサポーターで、安心して暮らせるまちづくりを進めます。

市民新風
竹若 茂國



任期最後の年、新市長に期待!!生活者目線で、最後まで責任を果たします。

無所属
小河 文人



美しい甲賀を目指して、「夢を語るう、やさしさあふれるまちづくりひとづくり」

無所属
田中 喜克



「志し揺るがず」住民の方々の視点に立って、再びの途で懸命に努力します。

市民新風
田中 新人



緊張感と使命感を持って「甲賀市政の発展のために」全力投球します。

共産党
小西 喜代次



住民こそ主人公。医療介護の経験生かし、願い実現のため、市民とスクラム組んで。

無所属
谷永 兼一



まちの潜在力を活かし、すべての人の活躍の場があるまちの実現に市民目線で取り組みます。

市民新風
土山 定信



市に新しい風がふきました。納得いただける甲賀市の為に努力します。

共産党
安井 直明



新市長の元、市民を守るため、経験生かし監視役としての役割を果たします。

共産党
山岡 光広



新聞記者の経験生かし、いつも市民目線で要求実現へ一歩一歩粘り強く...

無所属
鵜飼 勲



基礎自治体議員としての真価を発揮するために、「一途一心」恩に報い徳に謝す。



12月定例会 代表質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです

岩永市政の 施策全般について

市民クラブ・新しい風
土山 定信



◎ 故郷を元気にしたいとの意見も含めて若者に愛されるまちづくりの即効性のある対策は。

◎ 若者が主体的にまちづくりに参加でき、安心して子どもを産み育てられるまちづくりが人口減少対策につながることを確信している。



◎ 旧甲賀病院跡地の利用について、具体的な計画を問う。

◎ 現時点で具体的な計画は持ち合わせていないが、まちづくりの重要な一団の土地であり慎重に検討を進めていきたい。

◎ 市民センター及び自治振興会は、行政が形を作って進めたとの感が強い。新市長の考えを聞く。

◎ 地方のことは地方で責任を持つ『地域地方分権』の考えのもと、本制度で活躍を展開していただいている。まずは29年度活動に関わっていただいている方や、学識経験者、また若い皆さんにも参加いただいで交付金の有効活用についても含め、検討の場を設ける。

◎ 高年齢化が進む中、産業振興策は。

◎ 新年度予算編成に検討している。

◎ 高年齢化が進む中、産業振興策は。

新市長の所信表明及び 諸課題について問う

公明党甲賀市議団
白坂 萬里子



◎ 市長給与の減額条例とは。

◎ 自らが姿勢を示すもので、平成29年1月から2月

までの2か月分は月額20%を、平成29年3月から平成32年の任期満了までは、月額10%を削減するもの。

◎ ふるさと納税の在り方について、時代のニーズに合わせ積極的に取り組む具体策とは。

◎ 先発自治体に引けを取らない魅力ある制度へと観光や地元産品の振興に繋がるよう、新年度実施に向け進める。

◎ まちに魅力を取り戻すための打開策は。

◎ 様々な施策（結婚・妊娠・出産・育児そして教育）をパッケージでとらえ推進することで、「まちの魅力」につなげ、若者の定住やUターンも含め推進していく。

◎ 75歳からのコミバス無料化は。

◎ 多くの財源を必要とすることから、まずは市民の皆様が一層利

用しやすい交通環境を整備し、運賃の増収も図りながら無料化の拡大を検討したい。



◎ 子どもの医療費の無料化は。

◎ 小学6年生までの無料化は間違いなく取り組む。

◎ 給食センターの建設は。

◎ 合併特例債期限内での整備が可能なことから、場所の変更や施設内容等を検討し取り組む。

12月定例会 代表質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです

任期4年間の成果とは何か

清風クラブ

辻 重治



◎ 今日までの市政の継続性について伺う。

○ 行政の継続性が必要なことは、申し上げるまでもなく、引き継ぐべきは、継承し、時代の変化を読み取り、変化を求められるときは、改革しながら市政運営を行う。そして、今日までの取り組みを検証しながら、市民福祉の向上を図る。

◎ 財政状況についての認識は。

○ 借金である公債費を減らし、貯金である基金を増やして、基盤が築かれたと理解する。

将来的な状況では、公共施設の見直しの遅れから負担の先送りなどの危惧がある。

◎ 任期中に確実に成果を上げるとは、具体的な成果は何か。

○ スピード感をもって施策に取り組み、プロセスと結果を皆様に分かる、具体の形にすることである。

◎ 人口減少に対する基本認識は。

○ 全国的な傾向だからやむを得

ないのではなく、子育て施策の充実などで乗り越え挑戦する。

◎ 新給食センター整備の進捗状況について。

○ 商業性の高いエリアであり、計画変更を早急に検討し、合併特例債期限内に整備をする。

● 質問は、大きく3項にわけ、28の内容について質問した。



統合がもたれる水口学校給食センター

選挙戦での争点等を問う

日本共産党甲賀市議員団

安井 直明



◎ 所信表明では、市政評価や約束（公約）について、なぜ具体的に言わなかったのか。

○ 新人市長のため公約実行には詳細な事務的検討のうえに、議員の理解が必要なため。

◎ 甲賀病院跡地を利用した「櫻の杜」構想は、「100億円の無駄なハコモノ」と批判、「100億円」の根拠は何か。

○ 前市長が目玉事業として「櫻の杜」構想を掲げたが、内容や作業工程、事業費等を示していない。専門家等の意見も聞き、事業費を試算、「100億円？」の表現を用い、政策議論を呼びかけた。複数の施設を相当の年数をかけてすると合併特例債発行期限に合わないことが予想され、財政破綻を招きかねないと考えた。

◎ 病院跡地の活用は。

○ 本市の中心市街地で重要な一団の土地だ。市民や議会での議論を含め、検討する。



病院跡地に福祉・医療の施設を7000名もの署名を集める

◎ 小中学校のエアコン設置は、洋式トイレは今後どうするのか。

○ エアコン整備及びトイレ改修の設計業務委託料を補正予算として計上、2か年を目的に整備する。

● その他に安倍政権のすすめる国政問題について質問しました。

12月定例会議
議案審議

農業委員の選出方法等や

市長給料の削減等を可決

平成28年12月議会は、11月10日の新市長の施政方針を受け11月24日から12月16日まで開催され、執行部からの提出案件31件と意見書案件6件、請願1件、計38件を慎重審議しました。

人事

◆教育委員会委員

今井 智一氏（信楽町）

（いまい ともかず）

◆監査委員

山本 哲雄氏（甲南町）

（やまもと てつお）

◆公平委員会委員

青木 孝徳氏（信楽町）

（あおき たかのり）

◆固定資産評価審査委員会委員

竹内 重行氏（水口町）

（たけうち しげゆき）

辻 恵子氏（甲賀町）

（つじ けいこ）

高橋 靖展氏（長岡京市）

（たかはし やすのぶ）

（全員賛成で同意）

条例

◆空家等の活用、適正管理等に関する条例

空き家等の有効活用や適正管理、管理不全の状態にある空き家等の発生の予防を図るため。

（全員賛成で可決）

◆農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例

国の法改正により農業委員会の委員、農地利用最適化推進委員の定数を定める。

農業委員会の委員は37人から19人に、農地利用最適化推進委員は新たに45人とする。

主な質疑

◎農業委員の選任方法が公選制から市長の任命制となるが、選任方法が変えられる理由は何か。

◎地域の農業をリードする担い手など、より実務に精通し農業者の創意工夫を最大限に引き出すことに優れ、より見識を有する方の就任が見込めるため。

◎19人の選考方法はどうか。評価委員会とはどういうものか。また、構成はどうか。

◎委員の募集後において、評価委員会を開催、審査結果を市長に報告、委員候補者を決定する。評価委員会の委員は、行政内部職員および農業委員から組織する。

反対討論

この条例は、農民の地位向上を目的から削除し、家族農業が中心の戦後農政を覆し最適化を推進し、公選制を廃止するもの。市長の任命制に変えれば恣意的な選任になりかねなく独立性が保てない。

賛成討論

農業委員の約9割は無投票で当選している実情を踏まえ、市町村長が候補者を推薦、公募で募ることとし、選任は議会の同意を要件としており透明性、公平性が担保されていることから賛成。

（賛成多数で可決）

◆農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の報酬及び費用弁償に関する条例

今回の農業委員会委員の改正、農地利用最適化推進委員の設置に伴い、報酬及び費用弁償を定めるもの。

（全員賛成で可決）

条例の一部改正

◆特別職の職員の給与等に関する条例

市長の給料を29年1・2月は月額20%減額、3月から平成32年10月まで10%減額する。

主な質疑

◎なぜ市長は10%給料カットをされるのかその根拠を問う。

◎10%カットの根拠は、前市長が給料削減をやめる以前の額に戻した。

◆開発許可の基準等に関する条例

都市計画法で定める条例の開発行為を追加し、市街化調整区域の適正な土地利用を誘導するため。

主な質疑

◎人口減少に対応するため、Uターン、Iターンを促進するためなのか。

人事・条例・補正予算 ほか



▲市街化調整区域での建築行為は、厳しく規制されている。今回の改正において集落の後継者が自然豊かな区域内での居住を希望される場合、住宅の受け皿として有効活用されると考える。

◆税条例
軽自動車税のグリーン化特例により1年間延長する。
(全員賛成で可決)

平成28年度補正予算

臨時福祉給付金、伴谷児童クラブの改築、小中エアコン設置、洋式トイレ改修設計の前倒し等

補正予算歳入の主なもの

◎ 国庫支出金

約4億7千800万円

◎ 繰入金

約2億1千500万円

◎ 市債

6億9千万円

補正予算歳出の主なもの

● 民生費

約6億2千500万円

● 教育費

約7億9千40万円

主な質疑

市立保育園管理運営(修繕)経費

◎ 対象となる園とその内容は。

▲ 水口東、水口西、岩上、甲賀西、土山にここにこの園で主なものは雨漏り等である。

信楽伝統産業会館整備事業

◎ なぜ今なのか、必要性を問う。

▲ 築後39年が経過し老朽化が著しい。信楽焼の振興や観光、商店街の活性化、SKRの利用促進など信楽のみならず市全体の活性化につながる。

平成28年度一般会計補正予算

歳入・歳出	補正前の額	423億4411万8千円
	補正額	14億5592万2千円
	合計	438億4万円

小中学校の空調設備事業

◎ 対象となる小中学校の数と概算額は。

▲ 小学校17校、中学校4校。小中学校合わせて約6億円。

小中学校のトイレ改修事業

◎ 対象となる小中学校の数と概算額は。

▲ 小学校15校、中学校1校、概算額は設計業務委託時に算定する。
(全員賛成で可決)

指定管理者の指定

◆ 大河原ふれあい広場
大河原区自治会へ

◆ 頓宮農村広場
頓宮区自治会へ

◆ 大河原ふれあいホール
大河原区自治会へ

◆ ひと・まち街道交流館
甲賀市観光協会へ
(全員賛成で可決)

市道路線の廃止・認定

廃止路線

◆ 水口町北泉地先
泉・念佛田線

◆ 甲南町深川地先
深川・猪ノ谷線

◆ 信楽町杉山地先
大倉団地線

認定路線

◆ 水口町泉地先
泉・念佛田線

◆ 甲南町深川地先
甲南駅北1号線

◆ 甲南町野田地先
野田下浦5号線

◆ 信楽町中野地先
しがらきニュータウン1号線・2号線
(全員賛成で可決)

主な事業の補正額

信楽高原鐵道施設整備の前倒し	6919万円
臨時福祉給付金支給事業	2億6009万円
伴谷児童クラブの改築	7930万円
伴谷小学校仮設校舎の解体	3000万円
信楽伝統産業会館の改築設計	4410万円
甲南駅周辺事業の前倒し	6000万円
甲南第一小学校大規模改造工事の前倒し	3億9636万円
小学校空調設備整備の設計	2890万円
中学校空調設備整備の設計	1450万円
小中学校トイレ洋式化改修設計	2310万円
水口中学校水泳プール改修工事の前倒し	1億6740万円

12月定例会

意見書・請願の可否

(清) 清風クラブ・(市) 市民クラブ・新しい風
(公) 公明党・(共) 日本共産党・(無) 無所属

○:賛成 ●:反対

意見書 請願	提案者 請願者	討 論		清風 クラブ (9人) (中西議員欠席)	市民 クラブ ・ 新しい 風 (6人)	公 明 党 (3人)	日 本 共 産 党 (3人)	鶴 飼 議 員	谷 永 議 員	小 河 議 員	田 中 喜 議 員	可 否
		反 対	賛 成									
TPPの国会批准撤回を求める意見書	安井(共)	—	小西(共)	●	○	●	○	●	●	●	●	否決(少数)
2024年の「滋賀国体」のあり方とムダづかいの見直しを求める意見書	安井(共)	—	山岡(共)	●	●	●	○	●	●	●	●	否決(少数)
核兵器禁止条約の締結を求める意見書	小西(共)	—	山岡(共)	○	○	○	○	○	○	○	●	可決(多数)
自衛隊に「駆けつけ警護」など新任務を付与せず、南スーダンからの撤退を求める意見書	小西(共)	—	安井(共)	●	○	●	○	●	●	●	●	否決(少数)
後期高齢者医療制度保険料の特例軽減措置の継続を求める意見書	山岡(共)	—	安井(共)	●	○	●	○	●	●	○	●	否決(少数)
高速増殖炉もんじゅの廃炉を求める意見書	山岡(共)	—	小西(共)	●	○	●	○	●	●	●	●	否決(少数)
原発事故による避難者用無償住宅支援の継続を求める意見書の提出を求める請願(討論・採決は原案に対し)	原発事故避難者の住宅支援継続を求める滋賀の会	小河(無)	小西(共) 竹若(市)	●	○	○白坂 ●加藤 ●田中將	○	●	○	●	○	不採択(少数)

臨時会 11月10日

和解及び損害賠償の額を定めることについて2件の専決処分報告があり、7件の議案審議をしました。

件 名	議決結果
一般会計補正予算(第3号) 平成28年9月の台風第16号により被災した市道の災害復旧事業について、歳入歳出予算にそれぞれ50,000千円を追加し、歳入歳出予算額を42,344,118千円とするもの。	全員賛成 可決
財産の取得につき議決を求めることについて 甲賀市新庁舎備品購入(その1)の事務机・椅子類の購入について、株式会社ゼットツーエーと83,095,200円で物品購入契約を締結することにつき、議決を求めるもの	全員賛成 可決
財産の取得につき議決を求めることについて 甲賀市新庁舎備品購入(その2)の書棚類の購入について、クチムラと53,784,000円で物品購入契約を締結することにつき、議決を求めるもの	全員賛成 可決
財産の取得につき議決を求めることについて 甲賀市新庁舎備品購入(その3)の会議室、待合場所、応接室の家具類の購入について、株式会社ウエノと68,482,800円で物品購入契約を締結することにつき、議決を求めるもの	全員賛成 可決
副市長の選任につき同意を求めることについて 湖南市石部南 正木仙治郎 氏	賛成少数 否決
固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて 守山市小島町 神山 和久 氏	全員賛成 同意
監査委員の選任につき同意を求めることについて 甲賀市水口町山 白坂萬里子 氏	賛成多数 同意

産業建設常任委員会

産業・建設・観光振興・上下水道の整備に関する委員会です

付託議案

条例案4件、請願を審査

12月13日、委員会を開催し、当委員会に付託された条例案4件、及び請願第3号について審査し、委員会では条例案は原案どおり可決、請願は賛成少数で不採択とすべきものとしました。

甲賀市空家等の活用、適正管理等に関する条例の制定

主な質疑は、空家の所有者不明の場合はどうするのか、市内の特定空家は何件か、空家の定義はなにか、対策協議会の権限・役割等は、空家を放置の場合と更地の場合の固定資産税の扱いはどうか等でした。

本議案について討論はなく、採決の結果、全員賛成により原案どおり可決すべきものと決定しました。

甲賀市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定

主な質疑は、独立性の担保はどうなるのか、農業委員会検討委員会における議論はどのような内容か等でした。

討論では反対討論が1件行われ、公選制のもとで地域の農業を守るという従来の農業委員会の役割が継続する保障がない、独立性の担保も見えない等で反対討論とする旨の内容でした。

他に討論はなく、採決の結果、賛成多数により原案どおり可決すべきものと決定しました。

甲賀市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の報酬及び費用弁償に関する条例の制定

質疑並びに討論はなく、採決の結果、全員賛成により原案どおり可決すべきものと決定しました。



請願者に趣旨説明を聞く

甲賀市開発許可の基準等に関する条例の一部を改正する条例の制定

主な質疑は、土地評価の観点から不公平感が発生しないのか、指定できない区域条件で優れた自然風景区域とはどのような区域か、住民への新制度の周知はどのように進めるのか等でした。

本議案について討論はなく採決の結果、全員賛成により原案どおり可決すべきものと決定しました。

請願

原発事故による避難者用無償住宅支援の継続を求める意見書の提出を求める請願

審査では、本請願を審査する前に、委員会協議会に切り替え、請願者3名から本請願の趣旨説明を受けました。その後、請願者への質疑が行われ質疑終了後、委員会を再開し、委員間で本請願に対する意見交換を行い討論、採決に入りました。

反対討論では2名より、福島県、国が行っている諸施策を尊重し対応されるべき、意見書宛先に福島県があり地方自治法99条による自治体の本旨にそぐわないものと考え反対。

賛成討論では2名より、全ての

人が故郷に帰れる状況になっていない状況下で、避難先における生活支援の継続は必要、新しい復興の枠組みを作るきっかけになり賛成。

以上、反対・賛成討論の後、採決の結果、賛成少数により不採択とすべきものと決定しました。



所管事務調査

11月21日に以下の案件の所管事務調査を行いました。

- 上下水道管の現状と今後の改修計画
- 道路整備基本計画策定・市道等の現状
- 市街化調整区域の規制緩和
- 空家等の活用・適正管理等
- 信楽伝統産業会館の新築・改修
- 「甲賀流忍者祭〜忍の舞〜」の開催
- 市長の取締役など就任状況
- 農業委員会制度改革

[総務] 総合計画、財政、自治振興、危機管理等に関わる委員会です
 [民生] 市民の生活と環境、福祉に関わる委員会です
 [文教] 文化やスポーツ、教育に関わる委員会です

総務・民生・文教常任委員会

民生常任委員会

付託議案

甲賀市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

当委員会に付託された本条例改正は、地域密着型通所介護の指定事務や指導監督を県から市に移行させるもので、市民サービスの向上に繋がるか、という視点で慎重に審査、全員賛成にて、原案どおり可決しました。

所管事務調査

◆健康福祉部関連

策定中の「第2次甲賀市地域福祉計画」や来年度から始まる「介護予防・日常生活支援総合事業」など4件の状況を、住み慣れた地域で、より暮らし易い生活ができるよう、調査を行いました。

主な質疑

- ◎ 移管の目的は。
- ▲ 施設整備を市の裁量で行えるようになり、身近なサービスを適切に提供できる。
- ◎ 人員基準の確認は。
- ▲ 新設時、及び6年毎の更新時や3年の中間年に指導確認する。



◆市民環境部関連

「甲賀市人権に関する総合計画」「第2次甲賀市男女共同参画計画」「第2次甲賀市環境基本計画」の策定状況、他不法投棄に関する案件を、人や環境にやさしいまちづくりの観点から調査を行いました。

総務常任委員会

所管事務調査

11月17日、委員会を開催し、第二次甲賀市総合計画の進捗と第三次甲賀市行政改革推進計画の取り組み状況等の説明を受けました。

第二次甲賀市総合計画（素案）の説明等がありました。また、審議会の議論中であり、引き続き調査を行います。

12月13日、甲賀市情報基盤整備事業、甲賀市地域公共交通網形成計画、平成29年度予算編成方針等について報告を受けました。

● 甲賀市情報基盤整備事業の(株)あいコムこうかは、概ね黒字になる見込みですが、まだ厳しい状況です。現在、市に対して4千万円の借り入れ要請があること、さらに今年度から始まる7億円に対する順次の返還も猶予の願いがあり、市としては



認める方針とのことでした。

● 甲賀市地域公共交通網形成計画の策定状況の報告もありました。新たな指針としてコミュニティバス路線の再編案が検討されています。デマンドバス、デマンドタクシーの活用が特徴です。

- 第二次甲賀市総合計画
- 甲賀市情報基盤整備事業
- 甲賀市地域公共交通網形成計画

いずれも、引き続き調査を行います。

文教常任委員会

所管事務調査

10月24日、委員会を開催し2項目の所管事務調査を実施しました。

平成28年度全国学力・学習状況調査の結果について

◎ 市独自の学力調査は、全国学力調査とリンクしているのか。

▲ 市独自の学力調査は小学4・5年、中学1・2年を、全国学力調査は小学6年、中学3年を対象にしている。独自のテストは、小学6年、中学3年だけでなく全ての学年で行うことで、市の目指す授業改善が定着してきたか先生が確認できるとともに、生徒にとっては自分の力を試せる機会になる。全国学力調査とリンクしていないが、早期に弱い科目がわかることからまたいへん有効である。

◎ 学力向上の取り組みに対する教師の認識は。

▲ どの教師も真摯に受け止め、学校としてのウィークポイントを改善していかなければならないと思っている。

甲賀市幼保・小中学校再編計画にかかる状況について

◎ 山内小学校は、休校か閉校になるのか。

▲ PTAや保護者、地域の意見を聞きながら判断する。それぞれの地域で協議をいただくことが基本的な教育委員会の考え方である。



18人の議員が 市の考えを問う

平成28年

12月7日・8日・9日・12日

目次

平成28年 第7回甲賀市議会定例会一般質問

順番	氏名	質問事項	順番	氏名	質問事項
1	竹村 貞男	1 高齢者の交通事故をなくすために 2 食品ロス問題と「食べきり運動」について 3 市役所関連施設の建物内全面禁煙を 4 甲賀市の教育方針について、新市長に問う	9	田中 新人	1 甲賀市の今後の農業政策について 2 総合体育館の建設について 3 マイナンバー制度の現況について 4 子どもの虐待防止について
2	田中 喜克	1 甲賀市の将来像「再び甲賀はひとつ」について 2 「甲賀病院跡地に水口体育館の再建を」について 3 (仮称)西部学校給食センター建設予定地の変更と庁舎周辺の土地利用の再考について 4 市内公共交通機関(高原鉄道・近江鉄道・コミバス)の利用増進策と地域活性化について	10	田中 將之	1 ロタウイルスワクチンの助成について 2 甲賀市観光政策について 3 甲賀市の地域医療政策について 4 人口ビジョンについて
3	鵜飼 勲	1 甲賀市長就任施政方針について 2 甲賀市の財政状況に関する認識について 3 学校給食センターの在り方について 4 10万人都市を目標に掲げた市長の貴生川駅南口の開発計画について 5 非常勤特別職(参与)採用について	11	橋本 律子	1 通学路の危険課題、徹底した対策を 2 生涯を通じた障がい者施策について
4	森田 久生	1 当市教育振興の現状と今後の展望について	12	山岡 光広	1 政治団体「社会活力研究会」について 2 75歳以上の後期高齢者に対する健診と保険料の特例軽減措置の継続について 3 就学援助制度入学準備金の支給時期について 4 国民健康保険の広域化と甲賀市の独自施策を生かすことについて 5 旧甲賀病院跡地の利用について 6 子どもの医療費を通院・入院とも中学校卒業まで拡充することについて
5	戒脇 浩	1 合併特例債利用予定の事業について	13	小西喜代次	1 甲賀市幼保・小中学校再編計画について 2 (仮称)西部学校給食センターについて 3 信楽高原鉄道の社長人事に関する市の対応について 4 公共交通の充実について 5 介護・福祉の充実について
6	加藤 和孝	1 災害に強いまちづくりについて (1) 災害発生時における避難所運営 (2) 福祉避難所の充実とケア体制 (3) 通電火災の発生抑止策 2 住宅行政について (1) 市営住宅の保証人制度の改善 (2) 民間賃貸住宅家賃補助制度の改善 3 大人のワクチン接種について (1) 高齢者肺炎球菌ワクチンの接種率の向上 (2) 風しん予防接種費用の助成制度の創設	14	山中 善治	1 市長直轄組織参与人事について 2 「約100億円?の巨大箱もの構想!」を問う 3 伴谷児童クラブについて
7	片山 修	1 社会的弱者のための施設に対する安全対策について 2 ふるさと納税について	15	谷永 兼二	1 市章使用に関して使用承認基準は適切か 2 選挙管理委員会並びに明るい選挙推進協議会の活動について 3 ソーシャル・ファーム(社会的企業)について 4 財源確保と合併算定替え終了後の計画について
8	林田 久充	1 新市長の甲賀市づくりへの基本理念について 2 人口減少社会の基本認識と人口想定について 3 地域の力、市民の力を引き出すまちづくりについて	16	竹若 茂國	1 市政の課題等について
			17	小河 文人	1 あいコムこうかの経営状況と今後の本市との関わりについて 2 県道16号大津信楽線・栗東信楽線大鳥居JCTの整備促進について 3 市職員の「仕事のやりがい」「働きがい」について
			18	橋本 恒典	1 甲賀市の将来に向けて

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

竹村 貞男

Q 市役所関連施設の全面禁煙を

A 受動喫煙防止の強化を図る



Q 市立の医療機関、学校は敷地内全面禁煙にすべきと考えるが。

A 保幼、小中、及び市立医療機関などでは敷地内禁煙を行っている。

Q 高齢者にたすき等の反射材の配布の計画は。

A 今後、検討していく。

Q 市広報紙に交通事故防止のポイントを掲載することについては。

A 広報あいこうかの毎月15日号で、交通安全の啓発をしている。

Q 提案の、交通事故防止のポイントについても十分参考にしつつ、市民の交通安全意識の高揚を図っていききたい。

Q 宴会などで、最初の30分間と終了前の10分間は自席で料理を楽しむ「30・10運動」の推進を。

A 各地域での出前講座等で紹介し、その啓発を進めている。

Q 「全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会」への参加は。

A 他の自治体の食品ロス削減への取り組みについて、先進的な事例を知ることのできる大変貴重な場であると考え、設立当初から参加している。



建物内全面禁煙が期待される新庁舎

Q 高齢者の交通事故防止の施策は。

A 甲賀町大原市場地区をモデル地区として、視認性を高め、靴に貼り付ける反射材を配布している。また、運転免許証を自主返納された方に、コミュニティバス回数乗車券の交付を行っている。

田中 喜克

Q 甲賀はひとつで15万人都市を

A 甲賀・湖南両市連携で政策推進



Q 甲賀病院跡地に水口体育館の再建を行い、水口中心市街地の活性化に資すると共に、あらゆる年齢層、スポーツ、イベント等幅広い用途、全天候型等に対応の屋内運動場ドームの建設をされては。

A 水口体育館の建替えの必要は認識している。地元地域の意見も聞き、整備計画の策定にかかる。市有地の活用もその中で検討する。

Q 学校給食センター現予定地(庁舎周辺)よりも他の場所での建設が望ましいと思われる。現予定地は防災機能に資する公共空間、駐車スペース、緊急時ヘリ発着場としての利活用をしてはどうか。

A 給食センター計画地周辺は商業性の高いエリアで、他に適地があれば計画変更を検討する。また現予定地の利活用も鋭意検討する。

Q 信楽高原鉄道・近江鉄道の直結相互乗り入れで市内交通、住民生活活動の活性化を計るとともに、新駅を設置して恒常的利用者確保し経営の安定を図っては。合わせて市内コミュニティバスの効率運行を。

A 高原鉄道・近江鉄道の相互乗り入れは種々課題があり現時点では難しい。「びわ湖京阪奈線鉄道建設計画」の中で実現に向けて取り組む。新駅設置には両鉄道とも先行すべき課題もあるが、今後検討する。コミュニティバスの効率運行は現在、他の運行方策も見据え再編見直し中。



間伐材活用全天候型ドーム

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

鵜飼 勲

Q 学校給食センターの在り方は

A 場所を変更することを検討中



Q 選挙期間中に事業見直しを訴えたが、現状と今後の方針は。
 A 給食センターは、日頃市民が足繁く通う所でない。市の真ん中に、そのような施設は必要ない。新しい給食センターを建設することの方向性には、何ら変わらない。

Q 11月7日～8日の上京目的は。
 A 市長の交代による事業見直しの中で、内示について取り下げることを文科省に伝えた。

Q 後の補助金について文科省は。
 A 「市長交代による政策の見直しはあるが、全国的に要望が多く、国としても当初予算で全ての要望に応えきれない状況を理解いただきたい」と伝えられた。

Q 給食センターに関連する市長の議会への説明責任をはじめ一連の言動は議会軽視では。
 A 議会軽視のつもりはない。

Q 非常勤特別職参与の採用は。
 A 公約を進めるために、与えられた人事権の範囲内で採用した。

Q 議会で否決した個人を新たに採用したことは権力の暴走では。
 A 副市長と参与の権限は全く異なるのでご理解頂きたい。

Q 非常勤特別職参与の採用人事は市長後援会への論功行賞では。
 A 違います。

森田 久生

Q 新市長の学校再編計画への姿勢は

A 市長自ら多方面の議論に参画する



今回は、岩永新市長が目指す「教育ナンバーワンの甲賀市づくり」について、学校教育問題に的を絞って質問した。

Q 現時点の甲賀市の学力水準に対する市長の認識は。
 A 当市の学力水準は決して高位置ではないと認識。

Q 選挙時のマニフェストで約束している「教育ナンバーワンのまち」とは。
 A 学力・体力だけでなく、協調性・思いやりの心といった人間性の総合力を大切にすまちづくりを目指したい。

Q 甲賀市教育振興基本計画は当市の教育の羅針盤である。ここだけは新市長の思いで変えたい部分はあるのか。
 A この計画に掲げられた理念は、私のまちづくりの方向性と合致しており、特に変更するところはない。

Q 幼保・小中学校再編計画について市長の認識は。
 A 幼保・小中学校再編計画について市長の認識は、



議会で議決された給食センター建設用地

Q 国庫補助金の内示状況は。
 A 平成28年10月18日に内示、内示額は2億7900万円である。



山内小学校

議員は選挙区内の運動会やスポーツ大会への差し入れが禁止されています。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

戎脇 浩

Q 甲賀病院跡地について

A まちづくりの重要な土地



Q 本庁舎整備の必要性は。

A 早いか遅いかの違いはあれ、必要な事業であると考ええる。

Q 決定時期は絶妙のタイミングであったと考えるが、どうか。

A 先に社会資本整備を行うべきであったと考える。

Q (仮)西部学校給食センターの現況と予定は。

A 設計が完了し、造成工事の契約を締結したが、今なら計画変更が可能であるので、場所の変更を予定している。

Q 国の補助金約2億1千万円を断られたとのことだが、今後、問題はなにか。

A 無いと考える。

Q 甲賀病院跡地は、市内及び水口地域のまちづくりの根幹をなす土地であると考ええるが、どうか。

A 本市の中心市街地にあり、まちづくりを進める上で、大変重要な一団の土地であると考ええる。

Q 合併特例債の利用を前提とした事業展開が必要だと考える。また

さか、売却はないですね。

A 特例債に限らず、補助金も視野に入れ、検討する。

Q 道の駅的な要素をもった観光施設や観光バス用駐車場も必要。市民と協働の協議会を立ち上げ、検討してはどうか。

A 提案も参考にしながら、早急に活用検討を始める。



まちづくりへの期待がかかる、甲賀病院跡地

加藤 和孝

Q 市営住宅の保証人制度の改善を

A 来年度から保証人を1名にする



Q 南海トラフ巨大地震などの災害に備え、避難所運営マニュアルを早急に整備すべきでは。

A 「甲賀市避難所運営マニュアルの作成モデル」を作った。これを自治会や施設管理者などにお示しをし、現場に必要な個別マニュアル整備が図れるよう努める。

Q 市営住宅に入居する際の連帯保証人を県営住宅のように1名、親族であれば市外の方でもよいとすべきでは。民間賃貸住宅家賃補助制度に、市営住宅に入居できなかった方の優先枠を設けては。

A 市営住宅の連帯保証人については、平成29年度から現在の2名から1名とする方向で制度設定する。家賃補助制度では、ひとり親世帯などの方を対象に優遇措置を設けており、事業の状況を見ながら対策を拡充するなど検討する。

Q 高齢者肺炎球菌ワクチン定期接種の該当者に再度の案内をしては。風しんの抗体価の低い、妊娠を希望される女性などを対象に風しん予防接種費用を助成しては。

A 高齢者肺炎球菌ワクチンについては、接種率が低下する1月に市の広報紙などを通じ、接種を勧める啓発を実施する。風しん予防接種については、県が実施している抗体検査の結果、予防接種が必要と判断された方を対象に接種費用の一部を助成する方向で調整する。

～先天性風しん感染の発生を予防するために～

風しん抗体検査を実施しています

妊婦、特に妊娠初期の女性が風しんにかかると、生まれてくる赤ちゃんが、脳障害、心疾患、白内障、聴覚障害などの障害を持つ「先天性風しん症候群」という病気になることがあります。

産前産後では、妊婦が保有する抗体価を測定し、風しんに対する十分な免疫を持っているかどうかを確認する抗体検査を実施しています。

対象者	産前産後に居住する次のいずれかに該当する方
	① 妊娠を希望する女性
	② 10月の産前産後検診などの産前産後
	③ 風しんの抗体価が低い妊婦の産前産後などの産前産後
	※ただし、既に風しんワクチン接種を受けたことがあり、抗体価が十分な方については検査の対象外となります。
実施場所	産科医療機関（産科ホームページに掲載してあります）
	※なお、予約が必要な産科は、産科医療機関にお問い合わせください。
実施期間	平成28年4月1日～平成29年3月31日
検査費用	無料
検査結果	検査を受けられた産科医療機関で結果をお知らせします。

抗体検査の結果、風しんの抗体が十分に足りていない場合、産前産後風しんの予防接種を受けましょう。

なお、定期の予防接種（1～2歳の頃、および6～7歳の頃）で受けて小学校入学前（年検の頃）以外の予防接種費用は自己負担となります。

ただし、大塚市、東洋町、守山町、野洲市、彦根市等では、予防接種費用の一部について助成を行っています。

詳しくは、お住まいの地域の保健センターまでお問い合わせください。

滋賀県

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

片山 修

Q ふるさと納税を活用した対策は

A 制度設計に着手し、新年度に実施



Q 「ふるさと納税」の平成27年度の件数と金額は。

A 件数は14件で、合計の寄附金額は349万円である。

Q 寄附金はどのように使われているか。

A あい甲賀ふるさと応援基金に積み立て、翌年度の申し込み時に指定された分野の事業に、寄附金を活用している。

Q 現状分析は。

A 市内2人、県内1人、県外11人特に50万円が1件と100万円が2件。返礼品については、一万円以上の寄附の場合は、お礼と千円相当の緑茶を贈っている。また、個人の方の50万円以上、団体の100万円以上の寄附については、甲賀市表彰規則に基づき、感謝状と5千円相当の地場産品を贈っている。

Q PR活動や工夫を凝らした取り組みは。

A 本市のホームページにも掲載パンフレットを作成し、各庁舎の



窓口にも配布。本年4月から、クレジットカードでも寄附できるようにしている。

Q ふるさと納税を活用した空き家対策や耕作放棄地対策は。

A 空き家管理や墓地清掃などの業務委託を返礼品としている自治体もある。新年度実施に向けて、先発自治体に引けを取らないような魅力ある制度設計や仕組みについて検討するなど、取り組みを進めていく。

林田 久充

Q 市長の甲賀市づくりの基本理念は

A 強い行動力で、課題の解決を



Q 市長としてどうありたいか。

A 私は、時代の変化を読み解き、市民のみなさんの顔、声が見聞きできるところに出向き、常に市民感覚を大切に強い行動力を持って、課題の解決に取り組みたい。

Q 市長として必要な固有のトップリーダー論とは。

A 甲賀市の行政力を高め、市民福祉の最大化につなげていく。そのためには、結果に対して責任を持つ姿勢が大切と考えている。

Q 私は、「甲賀市のブランドデザインを描き、市民、議会に問いかけられる唯一の人」が市長だと思う。市長になってからこそ、マニフェストをはじめとする政策を、多くの市民に語り、それを継続的な形にする人が市長だと期待している。

市長が考える地方分権型社会はどのようなもので、誰が創ると考えるか。

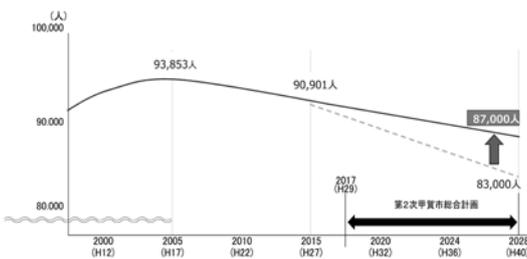
A 地方のことは、地方で、決めて行動しない限り、現状は変わら

ない。市役所が国頼みでは無い自主自立のまちづくりを推進するとともに、市民の皆さんが、まちづくりを主体的に担う環境づくりを進めることが大切である。

Q 人口10万人を第二次総合計画の人口フレームとするのか。

A 平成40年度（2028年）の目標数値は、8万7千人とする。

その他、自治振興会、あいとう福祉モールの取り組み、社会的インフラ投資について質問した。



甲賀市が考える人口フレーム
(総合政策部から人口推計グラフの提供)

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

田中 新人

Q 総合体育館署名で新市長の所見は

A 本市に相応しい体育館を検討する



Q 総合体育館の署名を受けて、岩永新市長の所見は。

A 各競技団体や市民の皆さんから多くの署名が寄せられ、総合体育館の建設を望む声が高まっていることは、十分に認識している。市民の皆さんの健康増進や体力づくりを促進し、まちづくりに生かしていただける、本市に相応しい体育館の在り方を検討してまいりたい方針。

Q マイナンバーカードの交付申請及び交付状況は。

A 11月末現在、申請件数8961件で申請率は9・7%、交付件数は6402件で交付率は6・9%で引き続き普及啓発に努める。

Q 甲賀市の児童虐待の現状は。

A 今年度は新規相談件数が9月末時点で209件、すでに平成27年度の181件を大きく上回る。

A 水口体育館は地域の皆様が、身近で活用しやすい施設であると考えている。一方総合体育館は、本市の中核体育館となるもので市内外からも広く利用いただける施設と考えており、水口体育館とは性質が異なると考えている。

Q 米の生産調整廃止後の対策は。

A JAや行政また関係機関で構成される県農業再生協議会では、独自に生産数量目標を示すことを臨時総会で議決され、国においても、非主食米への支援策が継続さ



コンバインによる大豆刈取り

田中 將之

Q 小児科救急医療の充実を

A 大切なテーマであり充実させる



Q 甲賀市の地域医療政策について、特に、滋賀県の小児救急医療環境は不十分であるということ、公立甲賀病院が中核を預かる甲賀医療圏域（甲賀市、湖南市）の状況については危機的で、民間開業医の協力を得ているものの、実質的には昼間の診療もある3人の病院小児科医師だけで夜間休日の小児救急を担当せざるを得なくなっているという実情があるが、甲賀市の地域医療政策をどのように考えるか。

A 公立甲賀病院の役割は、甲賀保険医療圏の基幹病院として、二次救急医療や地域の診療所では困難な検査や手術、高度な治療が必要な医療の提供を行うこと。

その中でも救急医療に力を入れ、平成27年度で2万1652人の救急を受け付けている。

また、小児科は、医師3人という体制のなか、休日対応として、甲賀湖南医師会等と連携し、小児救急外来を開設するとともに、小

児科医師が当番で診察にあたっている。また、夜間は小児科医師が待機し、対応できる体制をとっており、昨年10月からは、救急車をすべて受け入れている。

今後も甲賀市の地域医療政策は、子育てナンバーワンまちづくりからも大切なテーマであり充実させていく。



基幹病院としての公立甲賀病院

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

橋本 律子

Q 通学・危険課題に徹底した対策を

A 安全管理上解決に向け早急に対処



Q 県道小佐治・甲南線の市への管理移管に伴う通学路としての課題をどう捉えているか。

A 都市計画道の28年度末完成予定にあわせ、双方の現地立会により修繕・安全対策が必要な箇所確認を行う。県において修繕の方向に協議を重ねている。

Q 移管までに、地元・県・市の課題共有どう図るのか。

A 地元より提案された通学路安全対策について、解決に向け県と市で取り組んでいく。

Q 移管後の市としての「安全対策」の具体策どう進めるか。

A 多くの小中学生が利用。歩道設置に伴う用地取得について、鉄道管理者と立入防止柵の設置を含め協議中である。交通規制や通学路の変更等地域と協議進める。

Q 高架橋が通学路指定と間くが安全面の配慮は現状どうされているのか。また、現通学路(水口・甲南線葛木区内)の混雑解消も懸念された通学路となるべきと考え



危険な登校時の様子

るが、交通マナー徹底も含め伺う。

A 周辺道路の交通量も増大することから更なる周知を行い、指導の徹底を図る。協議を踏まえ安全性を確認の上指定する考えだ。

Q 障がい者施策の中、ライフステージごとの支援の充実がより必要と考えるが。

A 本人の自立に向け、関係機関連携のもと構築が必要である。

Q 75歳以上高齢者の健診について広域連合に直接改善を申し入れたら、「一定の条件を満たせば健診は可能」との回答であった。その内容を周知するとともに、最初から健診通知が届くよう改善を。

A 健診受診対象者の基準を29年度から見直す。(今後は)一年間に生活習慣病での受診が3回以上ありかつ血液検査を受けられた方のみを対象外とし、それ以外は受診券を送付する。

Q 子どもの医療費無料化。前市長は新年度から中学卒業まで拡充すると約束していたが、代表質問では「低所得者を優先する」。所得制限を設けるといふことか。

A 現行小3を6年生まで拡大する。所得制限は設けず現行通り完全無料化に。

Q 就学援助制度入学準備金の支給を7月支給ではなく、文科省の通知を受けて2月・3月に支給できるよう改善すべき。

A できるだけ早く支給するには

山岡 光広

Q 75歳以上高齢者の健診改善を

A 29年度から基準見直し改善



甲賀市の後期高齢者医療健診の受診者の推移

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
健診対象者	8,318	8,210	8,176	8,164	2,563
受診者	3,115	3,328	3,331	3,351	843
受診率	37.45%	40.54%	40.74%	41.05%	32.89%

どういった方法があるか。引き続き検討。

Q 「櫻の杜構想は白紙」。どこに問題があるのか。選挙中「百億円のハコモノ」と批判されたがその根拠は。今後の利用計画は。

A 私が突然白紙にしたものではない。(前市長の選挙公報)「市民の声も取り入れて整備の方向を示す」というのは白紙に戻されたこと認識した。専門家が試算した。利用計画は今後検討する。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

小西喜代次

Q 給食センター変更に瑕疵は

A 瑕疵はない。公約の範囲内



山中 善治

Q 副市長不採択の参与登用を問う

A 市長の人事権の範囲内で任命



Q 甲賀市幼保・小中学校再編計画で「必要な計画を加える」としている。市長権限拡大か。住民合意が前提、教育委員会の独立性を確認できるか。

A 権限拡大ではない。住民合意前提で、教育委員会と市長部局との連携を密にし、切れ目ない施策を展開していく。

Q 議会承認の西部学校給食センター計画を議会報告無しに図に計画変更を申し出たのは、手続き上瑕疵はないのか。「いつ、どこで、誰が」決めたのか。変更理由に防音、防臭で費用増とあるが新たな増額ではないのか。

A 瑕疵はない。公約を実現する立場から判断した。東部給食センターとの比較で言っただけ。

Q コミュニティバスの三雲駅から甲賀病院行の増便、貴生川駅発、土山行の最終便の増便の要望にどう応えるのか。

A 利便性の高い交通形態の検討とともに、担当部署に検討の指示

を行った。

Q 市長の公約に特別養護老人ホームがないが現状認識はどうか。選挙チラシの「介護予算を3割カット」は何をカットしたのか。

A 特養は介護保険事業計画で必要な整備数を定める。介護予算3割カットは、社会福祉協議会の補助金削減のことである。

介護や医療の充実 → 過去に介護予算を3割もカットしたことがあり、予算が厳しくなればまたカットするしかない。

「みんなの甲賀」のチラシの一部

Q 副市長と参与の職務の違いは。

A 副市長は長の命により政策及び企画をつかさどり、職員の事務を監督する。また別の定めにより長の職務を代理する。参与は一般的な行政事務でなく、特定の職務を行う非常勤の嘱託員である。今回は秘書事務における助言及び調整補助を担当する。長が持つ人事権の範囲内で任命した。

Q 人の上に立つべき人は、まぎらわしいことや誤解を招くことを慎むべきであり、「李下に冠を正さず」とある。今回の市長選挙において、対抗馬側の重要ポストにおられた方を自らの参与に任用した人事について、違和感を覚えられたり、常識では考えられないと思われる方もいる。また副市長案件で否決された方を参与で登用することは、長の人事権といえども議会軽視ではないか。市民の評価に対する所見を問う。

A 参与の人事については、結果をもって評価していただけるよ

う、精一杯頑張る。

Q 伴谷児童クラブの仮移転の経過と、今後の予定は。

A 利用する児童への健康面への影響を考慮し、昨年10月に伴谷公民館2階に仮移転した。本年夏休み明けからの保育開始を目標に、伴谷小学校敷地内に改築する設計を進めている。小学6年までの拡大を考慮し、定員は70名に設定した。



「瓜田に履、李下に冠」の戒め

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

谷永 兼二

Q 市章使用要綱の見直しを

A 改正を検討する必要がある



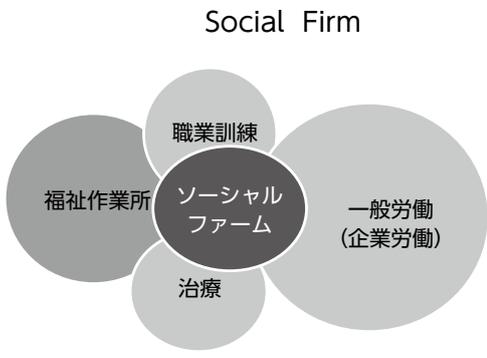
竹若 茂國

Q 第二次総合計画の具現化を

A 財源と優先順位を示し実施



Q 市章の意義は。
A 本市を表象するものであり、大切に扱われるべきもの。
Q 市章の政治団体の使用は適切でない。現状では政治団体や宗教団体等が使用できる状態にあるため、市章使用要綱の見直しが必要では。
A 現行の要綱の改正を検討する必要があると考えており、今後協議する。
Q 一般就労には至らない、しかし働きたい思いを持つ障がい者が、健康者と共に働き、地域で自立して生活する場として、日本でも徐々に広がりを見せているソーシャル・ファームに関しての認識は。
A 企業的な経営手法を用い、障がいのある人をはじめとする不利な立場にある人の雇用を創出するもので、経済的自立の効果もあることから、雇用の改善や社会参加の促進につながる支援のひとつである。



Q 福祉のまち甲賀市として先駆的に取り組む検討を。
A 障がいのある人たちの働きたいという願いに広く応えるためにも、先進事例や国の支援制度等の情報収集を行い、生涯にわたり自立できるような就労支援について、幅広い見地から前向きに検討する。

Q 第二次総合計画及び都市計画マスタープランの具現化は。
A 前総合計画の成果と課題を検証する。都市計画マスタープランは財源確保と優先順位を重視して、市民に解りやすく具体的な施策を示す。
Q 「観光戦略」のインフラは。
A 観光拠点、整備エリア、ルート観光資源は民間活力をいかし資金計画、目標年次を示し進める。
Q 情報基盤光回線の活用は。
A Wi-Fiによる観光振興等を行う。有識者のアドバイスで活用を早急に検討する。「あいコムこうか」に新たな利活用による経営安定化を促す。
Q 当初計画から一年遅れている地域包括ケアシステムの現状は。
A 在宅医療推進センターを設置し在宅医療のネットワーク、地域リハビリテーションの整備を進めている。
Q 2次地域福祉計画を柱に据えたまちづくりを。



A 非常に大きなまちづくりのテーマとして福祉社会の構築を進める。
Q 「子どもの貧困」実調査に基づく客観的な対策を。
A 民生委員や学校訪問で実態把握に努める。
Q ソーシャルワーカーの実態は。小中26校の子どもの貧困、いじめ、虐待等に対処できるのか。
A 2人で市内学校を回っている。来年度は一人増員予定。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

小河 文人

Q 県道16号大鳥居JCT早期実現へ

A 国・県へ早期実現を強く要望する



この道路は、大戸川ダム計画に

翻弄され40数年が経つ。田代・畑地域の道路だけではなく、ミホミュージアム、ゴルフ場などの来訪者の道路でもある。年間の交通量も10万台を超えている。早期に新しい県道に接合するべきではないかと考える。地域の要望も踏まえ質問した。

Q ゴルフ場来訪者、ミホミュージアム、秀明会など多くの来訪者が利用しているがその必要性の認識は。

A 甲賀市から大津信楽線を大津方面、栗東信楽線を栗東方面へつながる重要な道路として認識している。朝夕の交通量も多く広域的なネットワークを形成している道路と認識している。

Q 大戸川ダムとの関連性について、ダムができなければ交通量が多くても整備されないのか。

A 栗東信楽線はダム建設工事の位置付けであるため、ダム本体の建設が再開されない限り整備され

ないと伺っている。

Q 大戸川ダム水源地域振興基金残高は。

A 平成27年度末現在高は1億4350万円、水源地域の振興施策を推進するために使用する。

Q 今後の国・県との協議は。

A ダム建設事業、主要地方道栗東信楽線の早期着手と主要地方道様の利便性が確保できるよう、精力的に国県と協議を重ねていきたい。



県道12号栗東信楽線

橋本 恒典

Q 市の将来に向けて

A 人口減少を止めるのが近々の課題



Q 市の人口の現状と将来人口は。

A 平成27年10月の国勢調査では9万901人で、第二次総合計画では平成40年の人口フレームは8万7千人と設定、将来人口10万人都市へのチャレンジに向けて反転攻勢への政策を位置付ける。

Q 市の人口10万人を実現するための取り組みは。

A 新市建設計画にある平成31年までに人口10万人を目指すという大きな目標設定を変更するべきではなく、大きな目標を10万人に置き、そのための施策を集中的に行う。そうした中で公共交通の充実、働く場所や子育て・教育の充実に取り組む。

Q 第二次総合計画策定の進捗は。

A 今後、実現に向けての施策体系や基本計画の策定を進める予定で、パブリックコメントや市民との意見交換会など多層な声を反映していく。

Q 市の将来に向け今、何が必要か伺う。

A 市民との対話を基本に進め、まずは人口減少を一日も早く止めることが近々の課題。今後の施策については第二次総合計画にしっかりと位置づけ、確実に成果が上がるよう取り組む。



自然と歴史に恵まれた甲賀市(野洲川と南鈴鹿の山々)

特別委員会・組合議会報告

庁舎整備特別委員会

特別委員会・

11月1日

報告

● 新庁舎備品購入の入札結果について

● 新庁舎及び新甲賀大原市民センターの建設工事進捗状況について

● 窓口業務の多い部署が対面式と島型とがあるがなぜか。

● 関係窓口部局との検討により、併用した形でまとまった。

● 障がい者の対応は。

● 障がい者団体と4回の意見交換を行い、様々にユニバーサルデ



現地視察

ザイン・バリアフリー等に配慮している。

● 案内表示は来庁者に確実にわかる表示で。

● A 一番見やすい表示を考えており、ポルトガル語等も検討していく。

● 相談に行った際のプライバシーは守れるか。

● A 仕切りの配置は再考していく。

● 備品等のメーカーは。

● A 事務机や椅子等はコクヨ、収納庫や棚等はナイキ。待合ソファや応接家具類はコクヨ。キッズコーナー備品はオリバー。

● 入札業者の実績や納品能力はあるのか。

● A 市内業者を指名しており、納品能力はあると認識している。

甲賀広域行政組合議会 第4回臨時会

12月22日

臨時会では2回目、通算4回目の組合議会が消防本部にて開催された。

主な議案は、国の

事院勧告に準じた条例の改正で、『甲賀広域行政組合職員の給与に

関する条例の一部を改正する条例の制定につ

いて、『甲賀広域行政組合職員の育児休業等

に関する条例の一部を改正する条例の制定に

ついて、『甲賀広域行政組合職員の勤務時間、

休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について』と『一般会計補正予算』が審議され、全員賛成で可決した。

● 主な質疑では、職員
の給与改定に伴う扶養
家族親族の状況による
増減額等と、育児や介
護休職の取得現状がさ
れた。

● 育児休業では、平成
29年3月の復職予定で
1名、1日当たり2時
間を限度とする部分休
業で1名の女性職員が
現在取得している。介
護休職では過去には実
績があるが現在はいな
いとのこと。

公立甲賀病院組合議会

第1回臨時会

12月22日

中西弥兵衛議員の病
院組合議員辞職に伴い、
本議会から橋本恒典議
員が組合議会議員に選
出された。

● 議案審議の前に、監
査委員から定期監査結
果及び現金出納検査結
果の報告があった。次
に議案審議に入り、『公

立甲賀病院組合職員の
勤務時間、休暇等に関
する条例の一部を改正

する条例の制定につい
て、『公立甲賀病院組

合職員の育児等に関す
る条例の一部を改正す
る条例の制定につい

て、『公立甲賀病院行
政組合職員の給与に関

する条例の一部を改正
する条例の制定につい
て』の3件が上程され、
質疑討論ともになく可

決した。
次に『公立甲賀病院
組合議会議員の派遣に
ついて』が議題とされ、
地方独立行政法人化し
た公立病院の視察研修
を2月2、3日に行う
ことについて、賛成の
挙手全員で決定した。

今後、独法化について
議論が進んで行くこと
になる。

議会活動報告 (10月~12月)

10月6日	広報特別委員会(編集会議)
10月24日	文教常任委員会
10月25日	視察受入【東京都目黒区議会】
10月26日	視察受入【群馬県太田市議会】
10月28日	視察受入【東京都小平市議会】
11月1日	庁舎整備特別委員会
11月7日	議会運営委員会
11月10日	臨時会 本会議
11月17日	議会運営委員会・総務常任委員会 議会報告会【土山開発センター・貴生川公民館】
11月18日	議会報告会【かふか生涯学習館・甲南公民館】
11月19日	議会報告会【水口社会福祉センター・信楽開発センター】
11月21日	産業建設常任委員会
11月24日	定例会 本会議① 代表質問 議会運営委員会
11月29日	定例会 本会議② 議案上程 議会運営委員会
12月6日	定例会 本会議③ 議案審議・採決・付託等
12月7日	定例会 本会議④ 一般質問 広報特別委員会(編集会議)
12月8日	定例会 本会議⑤ 一般質問
12月9日	定例会 本会議⑥ 一般質問 議会運営委員会
12月12日	定例会 本会議⑦ 一般質問 議会運営委員会
12月13日	総務常任委員会・民生常任委員会・産業建設常任委員会
12月16日	定例会 本会議⑧ 委員長報告・質疑・討論・採決
12月20日	文教常任委員会
12月26日	広報特別委員会(編集会議)

より身近な市議会に



初めての昼間の報告会（水口社会福祉センター）

第5回議会報告会を開催

市民に開かれた市議会をめぐり第5回議会報告会を11月17日・18日・19日の3日間、概ね中学校区単位の6会場で開催しました。

報告会は前回同様、午後7時30分から開催するとともに、水口社会福祉センターでは初めて昼間に開催しました。同センターでは夜の参加が難しい方や障がい者団体の方々もご参加いただきました。なお、全体の参加者は前回より減ったものの162人の皆さんに参加いただきました。

今回の報告内容は次のとおりです。

① 決算特別委員会報告

② 平成28年度一般会計補正予算

③ 甲賀の國づくりプロジェクト

報告会では報告に対する質疑の他、議会活動全般にわたり様々な質問やご意見をいただきました。いただいた質問やご意見の一部をご紹介しますとともに、詳細については議会ホームページにも掲載いたします。

主な質疑など

Q 自治振興会の事業加算金については年度末に残った予算を返還しなければならぬ。これらの予算を積み立てることはできないか。

A 今までから同様の意見を聞いており、議会としてもチェックし検討していく。

Q セーフコミュニティ事業は国際認証を受け日本で13番目、県下初と言われているが市民に見えてこない。

A 認知度はまだまだ低いと理解している。ご提案も参考にしながらより普及に努めるよう市に伝える。

Q 飛び出せわくわく学習室作成費はいくらかの放映だと理解しているが一般家庭ではまだまだ普及しておらず学校での利用はどうなっているのか。

A 作成費2千万円は市からの委託料で、学校ではDVDを授業に活用している。

Q 空き家バンク制度について市は調査を行い結果は出ているのか。

A 人口減少に対し空き家活用は重要で他府県からの移住も大切。市の調査結果については後日報告する。

Q 甲賀市は忍者で売り出そうとしているが、もっと発信し効果がついてくるようにすることが大切と考えるが。

A 甲賀の國づくり事業として忍者を前面に出して様々な手段で発信している。

Q 甲賀の國づくりプロジェクトはまちづくりの根幹であるが、市民への説明の努力がされているのか。また、市長の交代により変化はあるのか。

A 國プロは市民の皆さんにも理解いただけるよう我々も努めた。新市長の考えについてはまだ聞いていない。

Q 旧甲賀病院跡地利用について

はどうなっているか。

A 前市長は櫻の杜とは言われていたが具体的な構想はなかった。議論はこれからと理解している。

Q 子どものいじめについて学力テストの結果に対して議会での議論を聞きたい。

A いじめの認知件数は年々増加しているが要因は色々ある。学力向上については議会も先進地視察や意見交換、提案を行っている。

その他の質疑

● その他、小・中学校エアコン設置について

● 土・日・祝日のコミュニティバスの運行について

市民に開かれた

議会報告会について

- 資料の字も大きく見やすかった。また、各議員の説明もわかりやすかった。もう少し詳しい説明があってもよかった。
- 資料や数値の読み上げが多かったのでわかりにくかった。
- 所々に難しい言葉が使われていたので出来るだけわかりやすい言葉を使ってほしい。
- 決算報告の指標は説明されても理解しづらい。
- 参加者が少なく残念。

市議会全般

こころ

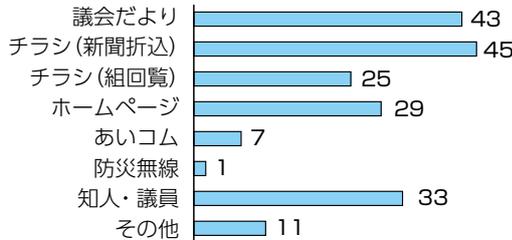
- 市議会だよりNo.48より一般質問の答弁者が市長・〇〇部長からAとなったが、以前のようになされた方が答弁者の顔を思い浮かべて読むことができるので再考を。
- チェックも重要。それも併せて発展的な市政運営にご尽力をお願いします。
- 初めて参加して大変良かった。途切れることなく細く長く続

参加者の声

- 議会報告会は議員に対して意見を聞く場として大変有意義。今後も続けてほしい。
- パワーポイントを使用している説明はよかった。
- 質疑応答で、出来る限り多くの人に質問してもらうため一人3分に限ったのは良い方法だと思う。
- 議員が市民への報告をいかに伝わりやすくするかと考えながら資料を準備し説明するという姿勢、各議員が協力して進められたことを大変ありがたく感じました。
- 市議会も市長も遠い存在であってほしい。議場のほうが迫力がある。
- 議会への傍聴に行きたいのでより情報が欲しい。
- 説明が早い

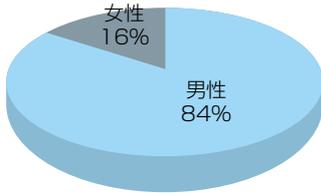
その他の声

何でお知りになりましたか

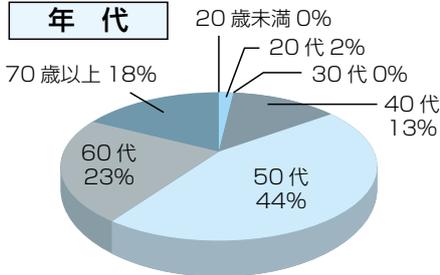


アンケート結果

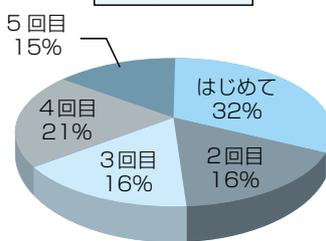
性別



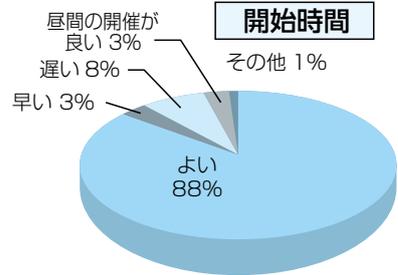
年代



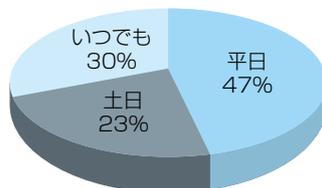
参加回数



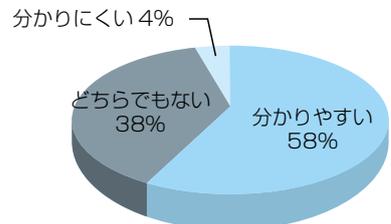
開始時間



開催曜日



報告内容・説明



ご参加いただき、ありがとうございました。
次回は5月中旬に開催します。

こうか再発見

市内の文化財⑤

vol.21

信楽町勅旨
信楽高原鐵道の
第一大戸川橋梁
(国登録有形文化財・昭和)

信楽高原鐵道の第一大戸川橋梁は、昭和28年8月の豪雨により、三連プレートガーダー橋の旧橋が流失したため、翌29年5月に工事を着手し、8月に竣工した、玉桂寺駅前から約200メートル北側、信楽町勅旨の大戸川にかかる橋梁。

基本設計をフランス人のコパニコが行い、仁杉巖にすぎいわお(当時の国鉄大阪工事事務所次長、後に国鉄総裁)が永友和夫(当時の国鉄本庁特殊設計室長)、吉田徳太郎の指導を仰ぎ、修正・改良を加え設計しました。当時の国鉄技術陣の総力を挙げて、橋梁建設を行ったことが、このことからうかがえます。

我が国の長大プレストレストコンクリート造橋梁の先駆けとなったもので、建設当時、鉄道橋梁としては世界的にもほとんど例を見ない画期的なものでした。

建設時に行われた種々の検討が、その後のプレストレストコンクリート造鉄道橋梁に非常に大きな影響を与えたとされ、日本初の本格的橋梁として第一級の歴史的橋梁であることから平成15年に産業考古学会推薦産業遺産に認定され、同20年に国の登録有形文化財となりました。(引用:甲賀市史 第6巻)



ライブ中継

3月定例会 2月16日から配信

録画配信

平成28年2月臨時会以降の
本会議録画映像を視聴できます。



これまでパソコンや「あいコムこうか」からしか見られませんでした。3月定例会からスマートフォンやタブレット端末でも映像を見られるようになります。

日程や議員名などから映像を探す機能もありますので、スマートフォンやタブレット端末で気軽にアクセスしてください。



編集後記

▶新市長を迎えて、最初の議会だより発刊となりました。市民の皆さんに、議会も新しい気持ちで臨んでいる姿が伝わったらと願っています。▶今回、報告すべき12月定例会から時間が過ぎ、新年をまたいで編集作業も長かかりました。▶委員は会派を超えて構成されており、活発な意見を言える機会があり、楽しく編集をしました。今後も編集委員として「あなたとつなぐ市議会だより」づくりに努めます。▶新庁舎の工事も着々と進んでいます。甲賀市にもあたたかな春のきざしが。
(広報特別委員 土山定信)

3月議会の予定

2月16日	本会議①議案上程
2月27日	本会議②代表質問
2月28日	本会議③議案審議、採決、付託
3月1日	本会議④一般質問
3月2日	本会議⑤一般質問
3月3日	本会議⑥一般質問
3月6日	本会議⑦一般質問
3月7日	委員会
3月8日	委員会
3月9日	委員会
3月10日	委員会
3月13日	委員会
3月15日	委員会
3月16日	委員会
3月21日	委員会
3月22日	委員会(予備日)
3月24日	本会議⑧最終日



1月14日夕刻から15日にかけて降り続けたこの冬一番の大雪。甲賀市内のあらゆるものを白一色の衣で覆い尽くし、私達を別世界に誘ってくれた。

大人にとってこの雪は、心配も引き連れたの天からの贈り物。でも子ども達には待ちに待った雪、年末のサンタに続く、今年最初の最高のプレゼントで「おおはしゃぎ」。



(写真撮影:田中喜克委員)

